

『検定簿記講義2級工業簿記』訂正のお知らせ

本書におきまして、下記の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

訂正箇所	(誤)	(正)
p.241 応用問題6-1の解説 (2)変動予算を用いる場合 予算差異の計算式	予算差異＝ <u>実際発生額</u> － <u>固定予算</u>	予算差異＝ <u>実際発生額</u> － <u>変動予算</u>
p.241 応用問題6-1の解説 (2)変動予算を用いる場合 操業度差異の計算式	操業度差異＝ <u>固定予算</u> － <u>予定配賦額</u>	操業度差異＝ <u>変動予算</u> － <u>予定配賦額</u>
p.291 総合模擬問題③(1)3 解答の仕訳	借方 (力)160,000 貸方 (ウ)154,000 (オ)6,000	借方 (ウ)154,000 (オ)6,000 貸方 (力)160,000
p.292 総合模擬問題③(1)3 解説の仕訳	借方 製造間接費 160,000 貸方 予算差異 154,000 操業度差異 6,000	借方 予算差異 154,000 操業度差異 6,000 貸方 製造間接費 160,000

株式会社中央経済社